

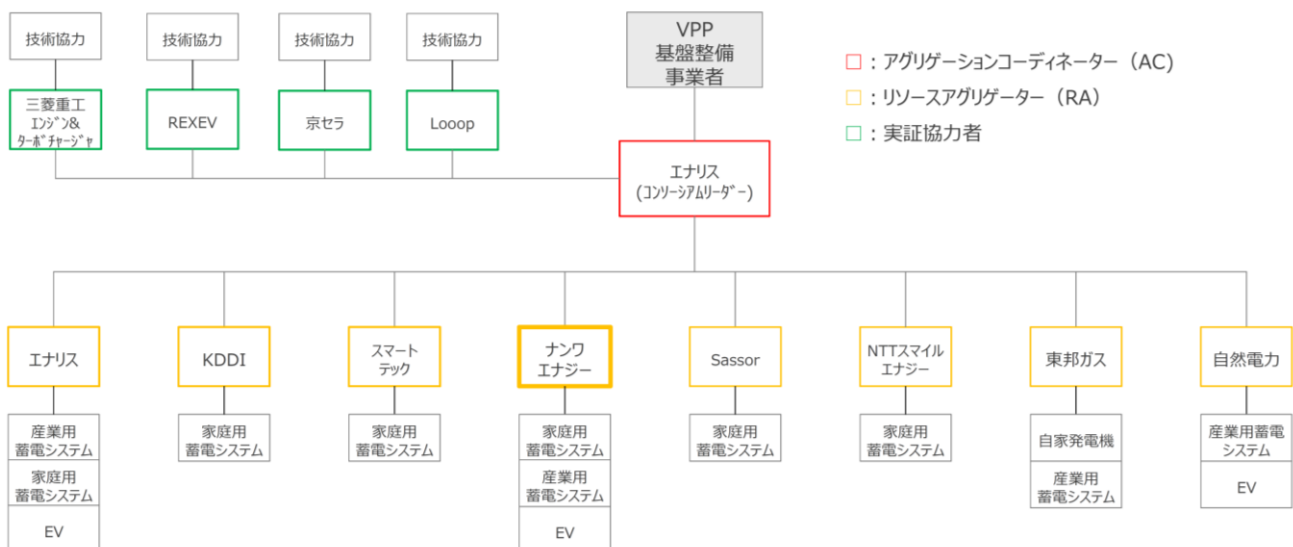
分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業採択
 ～ 環境に配慮した持続可能な社会の構築 ～

株式会社ナンワエナジー（本社：鹿児島市東開町、代表取締役社長：川畑佑樹 以下、ナンワエナジー <http://www.e-nanwa.co.jp/>）は、このたび経済産業省が実施する「令和3年度 分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業」※1において、執行団体の一般社団法人環境共創イニシアチブより、リソースアグリゲーター※2として採択されました。本実証では、IoT 機器を活用し、蓄電池等の分散型エネルギーリソースを遠隔統合制御する事業を12社で行います。

SDGs※3など環境への意識が高まる中でナンワエナジーも「持続可能な開発目標」に賛同し、SDGsの目標達成に向けて取り組んでおります。その取組の1つとして、蓄電池や再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギー供給源を分散化することで電力レジリエンスの向上、持続可能かつ強靱（レジリエント）な街づくりに貢献していくことを目指しております。

東日本大震災以降、エネルギー政策により再生可能エネルギーが急速に普及し、従前の大規模集中電源から多数の小規模発電設備を安定的かつ有効に活用することが求められております。また、2050年のカーボンニュートラルに向けた再エネの主力電源化の動きや近年多発する災害時の非常用電源として、蓄電池のニーズは急速に高まっております。本事業では、分散型エネルギーリソース（蓄電池設備等）を遠隔統合制御し、安定かつ効率的な電力システムの構築、再生可能エネルギーの普及拡大を図ることを目的としております。

< 実証スキーム図 >



< 実証の内容 >

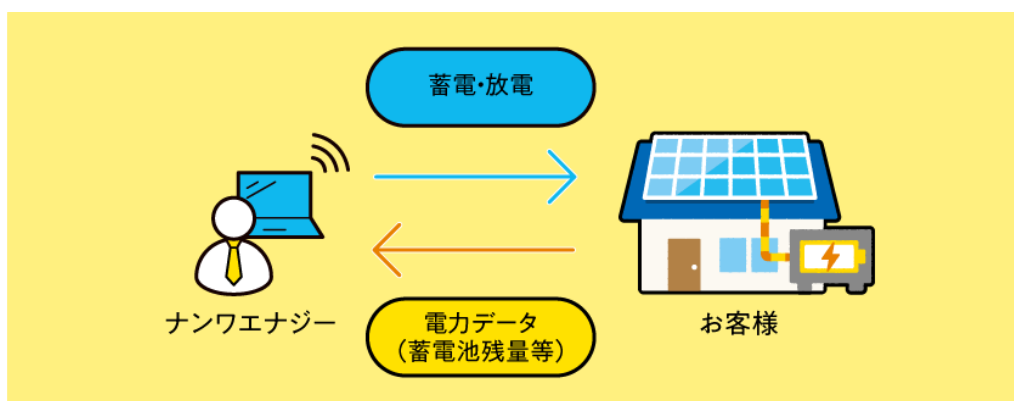
昨年度まで参画していた「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業」での課題を解消し、実サービスの提供に向けて、予測精度・制御精度の更なる向上等に取り組みます。

実施地域：九州電力管内（一部、離島を除く）

制御対象：家庭用蓄電システム、業務用・産業用蓄電システム、EVPS

実証期間：2021年6月7日（月）～2022年1月31日（月）

< 遠隔制御イメージ >



ナワエナジーは、本実証を通じて、蓄電池やEV等のエネルギーリソースを活用したサービスモデルを構築し、再生可能エネルギー発電設備の導入促進、災害時等の非常時にも活用可能なエネルギー供給源の分散化、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 「令和3年度 分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業」について

参照：一般社団法人環境共創イニシアチブ <https://sii.or.jp/>

※2 エネルギーリソースを導入した需要家と遠隔制御に関する契約を締結し、リソース制御を行う事業者

※3 2015年に「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発目標」

◆本件（ニュースリリース）に関するお問い合わせ先◆

株式会社ナワエナジー／経営企画部 事業戦略課 TEL：099-210-1234 FAX：099-210-1233